

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	日本の言葉と文化	
科目基礎情報							
科目番号	90016			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子機械工学専攻M			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	適宜プリントを配布する。						
担当教員	鈴木 喬						
到達目標							
(ア)文章の構造を理解し、適切な接続表現を用いることができる。 (イ)論証のための基本技術を身に付ける。 (ウ)適切な質問をすることができる。 (エ)問題に対し、多角的に捉え、批判的に考えることができる。 (オ)自分の考えを適切に書いたり、プレゼンテーションしたりすることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目(ア)	文章の構造を理解し、適切な接続表現を用いて、論理的文章が構築できる。			文章の構造や接続表現の基本が理解できる。		文章の構造や接続表現の基本が理解できない。	
評価項目(イ)	論証のための基本技術を身に付け、根拠に基づいて議論ができる。			論証のための基本技術を理解できる。		論証のための基本技術を理解できない。	
評価項目(ウ)	自分の考えを適切に書いたり、プレゼンテーションしたりすることができる。			自分の考えを適切に書くことができる。		自分の考えを適切に書くことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	論理的な記述力・発表力・討議力を身につけるための実践的トレーニングを行う。具体的には、論理的文章を正しく読みとり、受講者自身の考えや主張を持つことを目指す。また各受講者が導き出した練習問題の答えを、グループで討議することで一つの答案にまとめ、それを全体で検討して解答を合わせる。こうした議論を積み重ねることで、論理的な思考能力や批判力を鍛えると同時に、自分の考えを適切に書いたり、プレゼンテーションしたりするために必要な基本技術の修得も目指す。						
授業の進め方・方法							
注意点	(自学自習内容) 授業後に必ず復習し、学習内容の理解を深めること。						
選択必修の種別・旧カリ科目名							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス (論理力とは何か)		論理力とは何か理解する		
		2週	論理力を養う 1 (接続表現の基本)		接続表現の基本を理解できる		
		3週	論理力を養う 2 (接続表現の実践)		接続表現を有効利用した論理的文章が書ける		
		4週	論理力を養う 3 (主語と述語、文末表現)		主語と述語の呼応や文末表現に注意して文章が書ける		
		5週	論理力を養う 4 (議論の基本)		議論の基本について理解できる		
		6週	論理力を養う 5 (論証の基本)		論証の基本について理解できる		
		7週	論理力を養う 6 (議論・論証の実践)		論証に支えられた議論ができる		
		8週	論理力を養う 7 (演繹・推測の基本)		演繹・推測の基本について理解できる		
	4thQ	9週	論理力を養う 8 (演繹・推測の実践)		演繹・推測を実践できる		
		10週	論理力を養う 9 (批判と反論の基本)		批判と反論の基本について理解できる		
		11週	論理力を養う 10 (批判と反論の実践)		批判と反論を実践できる		
		12週	論理力を養う 11 (論文の基本)		論文の基本を理解・実践できる		
		13週	表現力を養う 1 (プレゼンテーション基本)		プレゼンテーションの基本を理解できる		
		14週	表現力を養う 2 (プレゼンテーション応用)		場に応じたプレゼンテーションができる		
		15週	まとめ		学習内容と学習成果を振り返り、検討できる		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	定期試験		小テスト		課題		合計
総合評価割合	50		20		30		100
分野横断的能力	50		20		30		100